

## 「阿蘇の草原キッズになろう！ 野焼き編」事業報告書

企画指導専門職 山下正晃

## 1 事業の概要

- (1) 趣 旨 阿蘇郡市内の子供たちに、阿蘇の草原環境の現状を学ばせると共に、草原維持活動(野焼き)を実際に体験させることで、草原環境保全への意識を高めさせる。また、野焼きに携わる人々との出会いを通して、いろいろな生き方・考え方に気づかせ、地域を愛し、地域をよりよくしようとする心を育成する。

## (2) 期 日

	阿蘇市立阿蘇小学校	阿蘇市立一の宮小学校	高森中央小・高森東学園
事前学習	平成 31 年 1 月 25 日(金)	平成 31 年 1 月 19 日(土)	平成 31 年 1 月 22 日(火)
野 焼 き	平成 31 年 2 月 5 日(火)	平成 31 年 2 月 22 日(金)	平成 31 年 2 月 21 日(木)

- (3) 活動場所 国立阿蘇青少年交流の家(野焼き)、町古閑牧野(野焼き)、各小学校(事前学習)

- (4) 参加者 阿蘇市立阿蘇小学校 5 年生 43 名  
阿蘇市立一の宮小学校 4 年生 88 名  
高森町立高森中央小学校 4 年生 37 名  
高森東学園義務教育学校 4 年生 4 名 5 年生 5 名  
※高森東学園義務教育学校の 5 年生は野焼き本番のみ参加

- (5) 講 師 市原啓吉 氏(町古閑牧野組合長) 小段 賢 氏(阿蘇グリーンストック)  
野焼きボランティア 22 名

- (6) 担当職員 山下正晃 (企画指導専門職) 安部信吾 (事業推進室長)  
尾家義隆 (企画指導専門職) 萱野太一 (事業推進係員)  
藤本親喜 (事業推進事務補佐員) 志賀泰成 (事業支援室主任)  
宇戸口 健 (事業支援室係員)

- (7) 内 容 ・事前学習：野焼きについての学習、火消し棒づくり  
・野焼き：たいまつづくり、野焼き体験

## 2 成果と課題

## (1) 成 果

- 「体験を通してボランティアの方や地域の方がこれまで阿蘇の草原を大切に守ってきたことがわかりました。」「大人になったら野焼きボランティアの皆さんと一緒に野焼きをして草原を守りたいです。」などの感想が見られ、阿蘇の草原についての理解を深め、自分たちが次世代の阿蘇の草原保全の担い手になるのだという自覚と意欲をもたせることができた。
- 事前学習において野焼きにおける安全指導を行うとともに、野焼きの服装についての資料を参加者に配布し、当日は安全な服装で参加してもらうようにした。また、綿の上着が準備できなかった参加者には交流の家にある上着を着用させて、安全管理に努めることができた。
- 各学校との連絡調整を密に行うことで、昨年度野焼き本番に参加できなかった、高森東学園義務教育学校の 5 年生も参加することができた。

## (2) 課 題

- 野焼きにおける安全管理の在り方について、保護者より問い合わせがあった。参加者の保護者に対して、事業担当者や連携機関による説明を直接行ったり、安全管理についての資料を事前に配布したりして、参加者やその保護者が不安なく参加できるようにする必要がある。
- 当日の風向きの変化等により活動場所や活動時間の変更を行ったため、参加者の活動時間が短くなってしまうことがあった。急な変更でも十分活動時間が確保できるような、ゆとりあるスケジュールを立てる必要があった。

### 3 事業の様子



野焼きについての事前学習



野焼き体験時の服装についての話



野焼きリーダーさんと火消し棒づくり



たいまつづくり



火つけ体験（町古閑牧野）



本焼きの見学（町古閑牧野）



火消し体験（町古閑牧野）



閉会式での感想発表